

## 実態調査の方法

### 1 調査対象者

調査対象者は、平成16年10月1日現在で、清酒の製造免許を有する清酒製造業者1,969者（共同びん詰法人を含み試験製造及び期限付免許者を除く。）であり、その内1,863者から回答があった。

### 2 調査対象期間

調査対象期間は、調査表で特に指定した場合を除き、法人については、平成16年10月1日直前終了事業年度分（1事業年度が6か月の場合は2事業年度分）とし、個人については平成15年分とした。

### 3 集計方法

#### (1) 企業タイプ区分

企業タイプ	該 当 基 準	
卸 売 タ イ プ	専 業 割 合 50 % 以 上	販売数量の80%以上を卸売業者に販売している企業
小 売 タ イ プ		販売数量の80%以上を小売業者及び消費者に販売している企業
卸・小売タイプ		卸売業者と小売業者及び消費者に対する販売数量の合計が、販売数量の80%以上となる企業で卸売タイプ、小売タイプに該当しない企業
おけ売りタイプⅠ		販売数量の80%以上がおけ売りである企業
おけ売りタイプⅡ		販売数量の50%以上がおけ売りである企業でおけ売りタイプⅠに該当しない企業
混 合 タ イ プ		前記のいずれのタイプにも該当しない企業
そ の 他 企 業	専業割合50%未満の企業	
集約製造参加者	製造する清酒の全数量を集約製造に参加して製造した者	
共同びん詰法人	清酒の「共同びん詰場」の設置を許可された法人	

(注) 専業割合50%以上の者及びその他企業は、いずれも清酒を実際に製造した者をいう。

#### (2) 集計区分

- イ 製成数量規模別（8階層）
- ロ 課税移出数量規模別（9階層）
- ハ 資本金階層別（法人のみ：6階層）
- ニ 販売数量規模別（9階層）
- ホ 都道府県別
- ヘ 企業タイプ別

#### 4 分析計数の算出方法

(1)	專業割合	$\frac{\text{清酒製造業売上高}}{\text{売上高}}$
(2)	稼働率	$\frac{\text{製成数量 (20度)}}{\text{製造能力 (20度)}}$
(3)	自製酒割合	$\frac{\text{製成数量 (20度)}}{\text{製成数量 (20度) + 未納稅移入数量 (20度)}}$
(4)	売上高総利益率	$\frac{\text{売上総利益}}{\text{売上高}}$
(5)	売上高営業利益率	$\frac{\text{営業利益}}{\text{売上高}}$
(6)	売上高税引前純利益率	$\frac{\text{税引前純利益}}{\text{売上高}}$
(7)	売上高販売費・一般管理費率	$\frac{\text{販売費・一般管理費}}{\text{売上高}}$
(8)	売上高人件費率	$\frac{\text{人件費}}{\text{売上高}}$ <small>※ 人件費とは利益処分以外の役員報酬、給料賃金、労務費、従業員賞与、退職手当、福利厚生費をいう。</small>
(9)	売上高金融費用比率	$\frac{\text{支払利息・割引料}}{\text{売上高}}$
(10)	売上高実金融費用比率 (実金利)	$\frac{\text{支払利息・割引料} - \text{受取利息割引料}}{\text{売上高}}$
(11)	売上高付加価値率	$\frac{\text{付加価値額}}{\text{売上高}}$ <small>※ 付加価値額 = 人件費 + 減価償却費 + 賃借料 + 租税公課 + 支払利息・割引料 + 税引前純利益</small> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <small>租税公課は次のものを除く。            ㊦ 利益金に課せられる法人税、所得税、地方税            ㊧ 印紙税を除く間接税            ㊨ 加算税、過怠税及び罰料金等</small> </div>
(12)	総資本営業利益率	$\frac{\text{営業利益}}{\text{総資本}}$
(13)	総資本税引前純利益率	$\frac{\text{税引前純利益}}{\text{総資本}}$

(14)	総資本借入金比率	$\frac{\text{借入金}}{\text{総資本}}$
(15)	自己資本比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$
(16)	自己資本税引前純利益率	$\frac{\text{税引前純利益}}{\text{自己資本}}$
(17)	自己資本借入金比率	$\frac{\text{借入金}}{\text{自己資本}}$
(18)	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$
(19)	当座比率	$\frac{\text{当座資産}}{\text{流動負債}}$
(20)	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}}$
(21)	総資本回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{総資本}}$
(22)	固定資産回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{固定資産}}$
(23)	受取債権回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{受取手形} + \text{売掛金}}$
(24)	商品回転率	$\frac{\text{売上高} - \text{酒税額}}{\text{期末商品在庫高}}$
(25)	清酒回転率	$\frac{\text{清酒製造業売上高} - \text{酒税額}}{\text{期末清酒在庫高}}$
(26)	売上高生産性	$\frac{\text{売上高}}{\text{年平均従業者 (従業員} + \text{役員等)}}$
(27)	従業員1人当たり 税引前純利益	$\frac{\text{税引前純利益}}{\text{年平均従業者 (従業員} + \text{役員等)}}$
(28)	従業員1人当たり付加価値額 (付加価値生産性)	$\frac{\text{付加価値額}}{\text{年平均従業者 (従業員} + \text{役員等)}}$
(29)	従業員1人当たり 人件費	$\frac{\text{人件費}}{\text{年平均従業者 (従業員} + \text{役員等)}}$
(30)	資本装備率	$\frac{\text{総資本}}{\text{年平均従業者 (従業員} + \text{役員等)}}$

(31)	労働装備率	$\frac{\text{有形固定資産} - \text{建設仮勘定}}{\text{年平均従業者 (従業員 + 役員等)}}$
(32)	従業員1人当たり 総移出数量	$\frac{\text{課税移出数量 (20度)} + \text{未納税移出数量 (20度)}}{\text{年平均従業員}}$
(33)	従業員1人当たり 製成数量	$\frac{\text{製成数量 (20度)}}{\text{製造部門年平均従業員}}$
(34)	従業員1人当たり 詰口数量	$\frac{\text{詰口数量 (実数)}}{\text{詰口部門年平均従業員}}$
(35)	従業員1人当たり 課税移出数量	$\frac{\text{課税移出数量 (実数)}}{\text{販売・一般管理部門年平均従業員}}$
(36)	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{自己資本}}$